



12月は発表会やもちつきなどの行事や遊びを通して、子どもたちが力を合わせたり、達成感を味わったりする機会がたくさんありました。今回は、その姿をお伝えしたいと思います。

生活発表会

『てぶくろ』の劇遊びでは、いろんな役になって表現することや、繰り返しの言葉や言葉を友達とやりとりすることを楽しみました。5歳児はイメージしたことを友達と話す中で、必要な道具や背景があるとよりいいものになることに気づき、準備をしました。楽器遊びでは、いろいろなリズムに合わせてカスタネットをたたく面白さや、様々な楽器の音を指揮に合わせて奏でることによって心が一つになる心地よさを感じました。当日の発表会後は、おうちの方々にも舞台上に上がっていただき、『やまびこごっこ』を、子どもたちとの掛け合いを楽しみながら歌いました。



もちつき

前日にもち米を洗ったり、杵でもちをついたりしました。もち米を蒸した時の匂いや味見をし、出来上がるまでの楽しみも感じながら、地域の方々や校長先生と一緒にもちつきをしました。日本の伝統文化に触れるだけでなく、もち米の匂いや蒸気の温かさ、杵の重さ、つきあがったもちの手触りなど、実体験だからこそこの学びがありました。後日、『もちつきごっこ』をして楽しみました。



ルールのある遊び

友達と一緒にしっぽ取りや帽子取りなどの鬼ごっこの遊びを通して、追いかけたり、逃げたりすることや仲間と協力して遊ぶ楽しさを味わっています。5歳児は、友達と遊ぶ中で、「ルールがあるとより楽しく遊ぶことができる」と気づき、自分たちでルールを考えたり、勝つための作戦を話し合ったりしています。さらに、4・3歳児にもわかるように言葉を選びながら、繰り返しルールを伝える姿が見られます。このような関わりを通して、相手に伝える力や聞く力が育ち、年齢の違う友達と一緒に遊ぶ中で思いやりや協調性も高まっています。



ぼくがコートを描くよ



今のうちに帽子を取り返そう

小学生や校長先生とドッジボールもしたよ。



挑戦

二学期に入り、チャレンジカードに取り組み、鉄棒やうんていなどの固定遊具に挑戦しています。最近では、長縄や短縄にも挑戦するようになりました。3歳児は初めての遊具や動きに親しみ、4歳児はできたことを喜びながら意欲的に取り組んでいます。5歳児は、自分なりの目標を立てて、少し難しいことにも繰り返し挑戦する中で達成感を味わい、自信につながっています。



バランスを取りながら、ペダルローラーに挑戦



うんていや登り棒で、いろんな登り方や高さに挑戦



縄跳びでいろんな跳び方に挑戦

フラフープの縄跳びに挑戦

